

日本甜菜製糖株式会社

令和5年 9月現在

業 種：製造業
従業員数：634名



お砂糖はスズラン印

住所：〒082-0005

北海道河西郡芽室町東芽室基線 29 番地ビジネスセンター

電話：0155-61-3113

FAX：0155-61-3200

H P：https://www.nitten.co.jp/

事業内容：砂糖事業(ビート糖、精糖などスズラン印のお砂糖の製造)他



【歴史と沿革】

私たち日本甜菜製糖は、日本では北海道でしか栽培されていない甜菜から、スズラン印のお砂糖をつかって全国にお届けしている国産糖のトップメーカーです。1919年の創業以来、北海道農業と共に歩んで参りました。伝統の中にも常に開拓者精神を忘れず、これからも技術開発を進め、生産農家の皆様、消費者・ユーザーの皆様と共に歩みを進めて参ります。

【法人内の障がい者雇用状況】

従業員数：634名

常用雇用障がい者数：13名

障がい者雇用率：1.97%

Interview

障がい者雇用を始めるまでの経緯

障がい者雇用について

東京証券取引所の市場区分再編の際、企業の社会的責任について再検討を行い、多様な人材が活躍できる環境整備を進めていくことになりました。また雇用者の年齢構成が高くなってきていることによる雇用率の問題もあり、障がい者雇用を進めて行くこととなりました。

社内のサステナビリティ委員会でも方針を定め、取り組んでいくこととなりましたが、特に知的・精神の障がいをお持ちの方については知識不足の部分が多い状態でした。そのため「だいち」の方々、また芽室町役場の皆様のご助言・ご協力をいただき取り組んで参りました。



日本甜菜製糖株式会社
人事部 次長
田中 克幸

障がい者雇用の進め方

ここが POINT !

当社製糖工場ではF A化が進み、人が手作業で行う業務がほとんど無いため、適切な業務が見つけられないでおりましたが、「だいち」「芽室町役場」また先行して取り組まれている企業の皆様から、障がい者雇用の現状や、業務切り分けの方法、体制整備等について詳細なアドバイスをいただきました。いろいろな業務を担える人がいること、またまずはやってみれば上手く回っていくことなど前向きな情報を得ることができました。

まずはビジネスセンター内での事務作業から雇用を始めることとし、業務の切り出しを進めると共に、所内で「だいち」から障がい者雇用の必要性や障がいを持った方の特性、付き合い方などについての講演を実施いただきました。その後、町からご紹介をいただき実習、雇用と順調に進んでいくことができました。雇用後も継続して芽室町からはフォローをいただいております。また本人も成長意欲が強いため「だいち」の研修にも参加させていただいております。

日本甜菜製糖株式会社

制度について

トライアル

・・・トライアル雇用助成金

JC

・・・職場適応援助者(ジョブコーチ)



勤務先：ビジネスセンター
障がい種別：知的
所属部署：人事部
採用年月：2022年6月
雇用形態：長期臨時員

雇用までの流れ

2022年4月実習(4日間)

→2022年6月入社

仕事の内容

- ・文書の文字起こし
- ・文書のスキャン
- ・施設内の除菌



事務員として毎日一生懸命業務に取り組んでいます。

雇用の際にした配慮や

体制づくりについて

業務全般のマニュアル作成を行いました。

メインでサポートする担当者を決め、担当者を通じて日々の業務の指示・確認などを行いました。

雇用前に所内で「だいち」から講演を実施いただきました。



パソコンの入力作業が得意です

古い文書の文字起こしを行ってもらっています。

元々パソコンの知識があったため、入力作業が得意で、テキパキと進めてくれています。

こちらのサポートがなくても集中して業務に取り組んでいただけるので非常に助かっております。

元々従業員が毎日交代で実施していた施設内の除菌作業も行ってもらっています。

普段は事務作業で座っていることが多いため、体を動かすことで良いリフレッシュにもなっているようです。



除菌作業も行っています

障がい者雇用を通じて感じていること

スタートは障がい者の法定雇用率達成のための雇用でしたが、知的障がい者といっても、いろんな人がいて、仕事の幅も広いということが分かり、障がい者雇用に対して多くの者が持っている「大変そうだ」というイメージは間違いだと実感しました。SDGs や社会貢献などというものも結構身近なところであって、一步踏み出せば実現できる部分も大きいと感じられるようになりました。